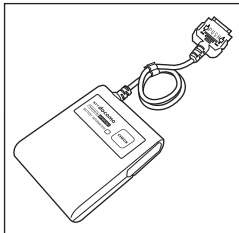
FOMA 補助充電アダプタ 01
取扱説明書

docomo

ご使用前にこの取扱説明書をお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、必ず保管しておいてください。
ご使用のＦＯＭＡ端末がＦＯＭＡ ＡＣアダプタ01／02 、またはＦＯＭＡ ＤＣアダプタ01／02 の対応機種であることを、ＦＯＭＡ端末の取扱説明書でご確認ください。また、ご使用前に、ＦＯＭＡ端末の取扱説明書をあわせてご覧ください。
For details, refer to the Manual for the FOMA.
「ＦＯＭＡ」は、ＮＴＴドコモの登録商標です。
フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークは、ＮＴＴコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。

補助充電アダプタのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　　示	Li−ion00
電池の種類	リチウムイオン電池

⚠危険

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。
また、機器の変形・故障、発熱、破裂、発火、性能・寿命の低下原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、補助充電アダプタを入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。

発火、破裂、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

発火、破裂、漏液の原因となります。

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

濡らさないでください。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

ＦＯＭＡ端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

補助充電アダプタ内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

補助充電アダプタのコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止	**補助充電アダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
禁止	**雷が鳴り出したら、ＦＯＭＡ端末、補助充電アダプタには触れないでください。** 感電の原因となります。
禁止	**使用中や充電中に、補助充電アダプタや卓上ホルダを、布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。** 火災、やけどの原因となります。
禁止	**補助充電アダプタのコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
禁止	**充電端子に誘電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。 また、内部に入れないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
禁止	**ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。** ガスに引火する恐れがあります。
禁止	**充電端子をショートさせないでください。 また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
濡れ手禁止	**濡れた手で補助充電アダプタのコード、コンセントに触れないでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
指示	**所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。** 発熱、破裂、発火させる原因となります。
指示	**使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。 １．電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。 ２．ＦＯＭＡ端末の電源を切る。 ３．電池パックをＦＯＭＡ端末から取り外す。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
指示	**漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。** 漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。
指示	**ペットが噛みつかないようにご注意ください。** 発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった補助充電アダプタは、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

子供が使用する場合は保護者が取り扱いの方法を教えてください。
また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

内部の液体が漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

仕様

出　　力	DC5.4V　400mA
使用電池	リチウムイオン電池　3.7V/1800mAh
使用温度範囲	5℃～35℃
くり返し使用回数	約500回

仕様および外観は、性能改良のため予告なく変更することがあります。
くり返し使用回数は、使用環境によって少なくなることがあります。

取り扱い上のご注意

○水をかけないでください。

補助充電アダプタは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

○端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

○FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

○充電は、適正な周囲温度(５℃～３５℃)の場所で行ってください。

○次のような場所では、充電しないでください。

・湿気、ほこり、振動の多い場所

・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

○充電中、補助充電アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

○補助充電アダプタの使用時間は、使用環境や補助充電アダプタの劣化度により異なります。

正しくご使用いただくために

○ＦＯＭＡ端末を充電する際には、電池パックをＦＯＭＡ端末に装着してご使用ください。

○ＦＯＭＡ端末の電源をＯＮにして待受状態でも充電できますが、その場合充電時間は長くなります。

○コネクタは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。また取り外すときは、リリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

○補助充電アダプタを長時間(１日以上)充電しないでください。

○落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、故障取扱窓口までご相談ください。

○直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。

○お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色あせたりすることがあります。

○充電時間は、ＡＣアダプタおよびＤＣアダプタに比べ、若干長くなります。

○補助充電アダプタは消耗品です。

・使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。新しい補助充電アダプタをお買い求めください。

○補助充電アダプタを初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。なお、この際の充電は、ＦＯＭＡ端末を接続しない状態で充電してください。

○補助充電アダプタの使用条件により、寿命が近づくにつれて補助充電アダプタが膨れる場合がありますが問題ありません。

○補助充電アダプタを保管される場合は、次の点にご注意ください。

・満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管

・電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

補助充電アダプタの性能や寿命を低下させる原因となります。

保管に適した電池残量は、目安としてバッテリーインフォメーションの表示が点滅状態をお勧めします。

○使用中にラジオ、テレビなどに雑音が入るときは、補助充電アダプタをラジオ、テレビから遠ざけ、なるべく離れた場所でご使用ください。

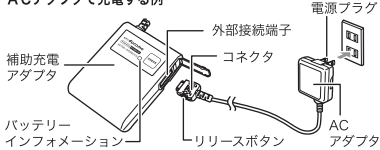
環境保全のため、不要になった補助充電アダプタはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

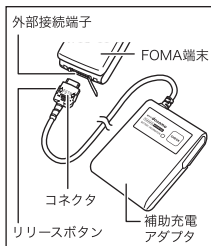
充電のしかた

<補助充電アダプタを充電する場合>

1. 補助充電アダプタの外部接続端子のキャップを開け、ACアダプタ（別売のFOMA　ACアダプタ０１／０２）のコネクタ表記面を上にして、補助充電アダプタに対して水平に差し込みます。

2. ＡＣアダプタの電源プラグを起こし、ＡＣ100Ｖコンセントへ差し込みます。バッテリーインフォメーション(→P.7)が点灯し、充電がはじまります。
(充電時間の目安：約４時間)
3. 充電が終了すると、バッテリーインフォメーションが消灯します。
4. 充電が終了したら、ＡＣアダプタをコンセントから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押して補助充電アダプタからコネクタを外します。
※必ずリリースボタンを押しながら、水平に引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。
5. 補助充電アダプタの外部接続端子のキャップを閉じます。

<FOMA端末を充電する場合>

○接続方法やご使用方法については、必ずＦＯＭＡ端末の取扱説明書をご覧ください。

1. ＦＯＭＡ端末に電池パックとリアカバーを取り付けます。
2. ＦＯＭＡ端末の外部接続端子のキャップを開け、補助充電アダプタのコネクタを、ＦＯＭＡ端末に対して水平に差し込みます。
※外部接続端子の位置およびコネクタの差し込み方法は、ＦＯＭＡ端末の取扱説明書をご覧ください。
3. 充電が終了したら、コネクタの両側のリリースボタンを押して、ＦＯＭＡ端末からコネクタを外します。
※必ずリリースボタンを押しながら、水平に引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。
※充電表示については、ＦＯＭＡ端末の取扱説明書をご覧ください。

○ＦＯＭＡ端末を充電する前に、補助充電アダプタの充電を行ってください。
※充電していても、長期間ご使用にならなかった場合は、自然に放電しますので、ＦＯＭＡ端末への充電量は少なくなります。
※補助充電アダプタを完全に充電していないと、ＦＯＭＡ端末の充電が十分に行われない場合があります。

○補助充電アダプタを卓上ホルダに接続して使用しないでください。

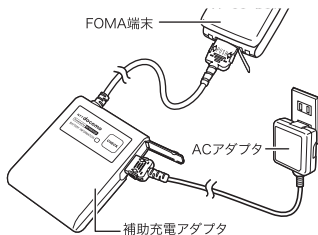
○充電が終了したら、速やかにコネクタを外してください。

○補助充電アダプタにバッテリー残量が残っている場合は、再度ＦＯＭＡ端末への充電が可能です。その場合は、再度コネクタをＦＯＭＡ端末に接続してください。

○補助充電アダプタとＡＣアダプタまたはＤＣアダプタを接続した状態で、ＦＯＭＡ端末を充電することができます。

※補助充電アダプタのバッテリー残量が約１０％以上の場合、ＦＯＭＡ端末の充電を行います。
※補助充電アダプタのバッテリー残量が約１０％未満の場合、先に補助充電アダプタから充電を開始し、約１０％を超えた時点で、ＦＯＭＡ端末の充電に移行します。
※ＦＯＭＡ端末の充電が終了すると、再度、補助充電アダプタの充電に移行し、補助充電アダプタの充電が終了するまで充電を行います。
（補助充電アダプタの充電への移行には時間がかかる場合があります。）
※バッテリーインフォメーションは補助充電アダプタ01を充電している際に点灯しますが、FOMA端末を充電している際は消灯します。

ACアダプタで充電する例

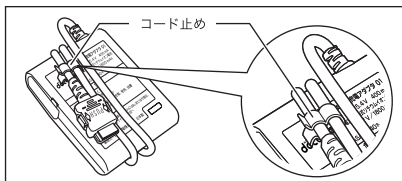
FOMA端末
ACアダプタ
補助充電アダプタ

○各機器との接続方法は、＜補助充電アダプタを充電する場合＞、＜ＦＯＭＡ端末を充電する場合＞の項目をご覧ください。

バッテリー残量

補助充電アダプタのＣＨＥＣＫボタンを押すと､バッテリーインフォメーションが点灯/点滅し､バッテリー残量を確認することができます。

表　　　示	バッテリー残量
緑色点灯(3秒間)	100%～15%
緑色点滅(3秒間)	15%～5%
消　　　灯	5%未満

収納のしかた

○コードを収納する際は、図のようにコードを補助充電アダプタに２周ほど軽い力で巻きつけ、コード止めで固定してください。

故障かな？

○下記点検をしても直らないときは、「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

・ＦＯＭＡ端末を充電できない ・充電表示をしない	・補助充電アダプタのコネクタがＦＯＭＡ端末に確実に差し込まれていますか？ →もう一度確実に差し込んでください。 ・補助充電アダプタは、充電できていますか？ →補助充電アダプタを充電してから使用してください。
・充電時間が短い	・ＦＯＭＡ端末の電池パックに残量がある状態で充電していませんか？ →ＦＯＭＡ端末の電池パックに残量がある状態で充電すると、充電時間が短くなります。
・充電時間が長い	・周囲温度は、5〜35℃の範囲内ですか？ →使用温度範囲外で充電すると、充電時間が長くなることがあります。
・完全に充電してもＦＯＭＡ端末を十分充電できない	・この補助充電アダプタは消耗品です。補助充電アダプタを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい補助充電アダプタをお買い求めください。 ※補助充電アダプタの交換時期は、使用状態などによっても異なります。

総合お問い合わせ先　<ドコモ インフォメーションセンター>

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00〜午後8：00（年中無休）

○番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

○番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

Powered by eneloop「eneloop」は三洋電機（株）の登録商標です。

販売元　株式会社NTTドコモ

製造元　三洋電機株式会社

'10.6（5版）